

仕事とプライベートの、
ちょうどいい関係。



あなたが想像してるより
介護の仕事はあなたにちょうどいいかも。



社会福祉法人大阪府社会福祉協議会
老人施設部会 福祉介護人材対策プロジェクト
<http://www.a-kaigo.gr.jp/>



Happiness
in Life

Happiness in Life

誰かの幸せのために働きたい。
でも自分の幸せも大切にしたい。
介護の仕事で自分の願いを叶えた
7人のストーリーを紹介します。

母として、一人の女性として、 充実した毎日を過ごしています。

「介護職ってワーキングマザーが多いんですよ」

3人のお子さんを育てながら、介護の世界に飛び込んだ丹羽さんに
仕事と子育てについて、話してもらいました。

人のために役立つ仕事に憧れて。

前職はアパレル系の企業でした。
毎日、パソコンや商品とにらめっこの日々は変化に乏しく、
もっと人のために役立つ仕事をしたい、
という思いがくすぶっていました。
そんなとき、遠方への引越しが決まり、
私も転職しなければならないことに。
「この機会にやりたいことにチャレンジしよう!」
私の気持ちは、以前から関心があった看護の仕事へ傾きました。

介護なら未経験でもスタートできる。

けれど当時三人の子育てに追われていた私は
看護系の学校に通うことが難しい、という壁にぶつかりました。
そんなとき、知人に勧められたのが介護の仕事。
介護業界なら未経験でも雇用してもらえる施設がある、とのことでした。
介護も看護と同じく、人の役に立つ仕事であることに変わりはありません。
懸念だった子育てとの両立も、
日勤だけのパート勤務ならクリアできることがわかり、
私は「特別養護老人ホーム」の面接を受け、入職が決まりました。

子育てと仕事を無理なく両立。

以前の職場は子どもが体調不良でも休みにくい雰囲気がありました。
でも今の職場では、万全の体調で勤務できるよう、
子どもだけでなく私の体にまで気遣っていただけます。
休みの調整もしやすく、学校行事に参加できるようになりました。
私と同様子育てしながら働いている方が多く、
お互いに気持ちが分かり合えることも、安心感につながっています。
転職から3年が過ぎ、子どもたちも大きくなりました。
休みの日は、次男の野球の練習に付き添ったり、
長女のダンスの送り迎えをしたり。
そうそう、最近は運動とリフレッシュを兼ねてゴルフを始めました。
コースデビューはまだ先になりそうですが(笑)
母として、一人の女性として、充実した毎日を過ごしています。



丹羽 明日香さん

自分にフィットする施設と出会えたら、 介護はすばらしい仕事です。

介護職から飲食店へ。そして再び介護の世界へ。
紆余曲折を経て、本当にやりたいことを見つけた塩見さんに、
転職のポイントを聞いてみました。

憧れだった介護職を4年で退職。

中学生の時、介護の現場を見学して“私の天職はこれだ”と直感しました。
高校卒業後、医療系専門学校の介護福祉学科に進み、介護老人保健施設に就職。
でも、少しずつ施設の考え方に違和感を感じるようになりました。
散々悩んだ末、4年目に退職。その後、
高校生の頃にアルバイトしていた焼き鳥屋さんに転職しました。

やっぱり私は介護の仕事が好き。

ある日、介護関係の仕事をしていた姉の職場を、
ボランティアで手伝うことになりました。
その施設の社長は、私の専門学校時代の講師を務めていた方。
「つぐみちゃんは、絶対に介護の仕事に向いている。
もう一度、チャレンジした方がいい」
私の姿を見た社長から、そんな言葉をかけられたのです。
“やっぱり私、介護の仕事が好き”
封印していた思いが、抑えられなくなりました。

自分に合った施設を見極める。

介護の世界へ復帰するにあたり、重視したことは2点です。
給与や福利厚生がしっかりしている施設であること。
方針が自分に合った所であること。
今の職場は、2つの条件がマッチしたことはもちろん、
施設長と対面したとき、面接らしくないざっばらんな雰囲気に惹かれて決めました。
これから介護業界に転職を考える方には、
自分に合った施設をしっかり見極めることを勧めます。
それさえクリアすれば、介護はやりがいのある本当に素晴らしい仕事。
私は介護を通して、相手の立場に立って考えることが、自然にできるようになりました。
そのことは、日々の生活でもとても役立っています。
たとえば、夫とのコミュニケーション。
もともと仲はいいのですが、より一層仲良くなれたんですよ(笑)
夫はミナミで古着屋を経営しています。
今日のスカジャンも、実は夫がプレゼントしてくれたもの。
今は二人で姪っ子のために、服を選んで買い付けるのが何より楽しみです。



妊娠中は同僚や職場にとっても気遣ってもらえました。

— お互いの印象を教えてくださいませんか。

優也さん「第一印象は、仕事ができ優しい先輩」

瞳さん「照れるわー(笑)私の印象は、「猪突猛進の後輩」。自分にはない真っ直ぐさに惹かれました」

優也さん「僕の方からアプローチして2018年に結婚。2019年に女の子を授かりました」

— 妊娠中、職場からのフォローはありましたか？

瞳さん「体に負荷がかかる仕事では、『私が代わるよ』と同僚が声をかけてくれたり、パソコン業務を優先的に回していただいたり。産休に入るまで、こちらが申し訳なくなるくらい気を遣ってもらえました」

夫婦で同じ職業だから、悩みも喜びも分かち合えます。

— 同じ職業でよかったことは？

瞳さん「考え方が真逆なので、私の悩みに思いがけない視点からアドバイスをくれて、それがとても役立っています」

優也さん「僕は仕事について理解してもらえることが何よりありがたいですね」

瞳さん「入社して2年目の頃、終末期を迎えたある入所者さんに、大好きなうなぎを食べていただくことになったんです。本物のうなぎは咀嚼できないので、ミキサー食をうなぎのように成形してお出しました。そうしたら、発語もままならない方だったのに、見た瞬間「うなぎや!」って声に出して喜んでくださって」

優也さん「僕も妻と同じチームだったので一緒に感動しました。二人とも介護の仕事をしているからこそ悩みだけでなくやりがいや喜びも分かち合えるんです」



二人とも介護の仕事をしているから、やりがいや喜びを分かち合える。

同じ職場で出会って結婚。待望のお子さんも生まれた青野優也さん・瞳さんご夫妻の暮らしぶりをちょっと覗いてみました。



青野 優也さん・瞳さん

春からは仕事にも家事にも前向きに楽しく取り組みそう。

— 優也さん、お子さんとのコミュニケーションはいかがですか。

優也さん「平日は帰宅すると寝ることが多いんです。なので休みの日に公園へ出かけたり、買い物や散歩にも連れていくようにして、一緒に過ごす時間を作っています」

— 瞳さんは今、育休中なんですか？

瞳さん「4月から復帰する予定です。同じ法人が運営する保育園があるから仕事に戻りやすく、とても助かります」

優也さん「育児や保育園の送り迎えも、お互いに協力しようとか今から相談しています。あ、家事も手伝うつもりですよ(笑)」

瞳さん「夫の理解とサポートがあるから、仕事にも家事にも前向きに、楽しく取り組みたいと思います!」



新しい自分に、着替える。

自分に似合うカラーやシルエットがあるように、
あなたらしい働き方も、きっとどこかにあります。
さあ、勇気を出して、新しい自分に着替えませんか。

建設業界 ▶ 介護職

人の役に立っているという実感が欲しくなり、介護の仕事に就こうと転職を決意しました。仕事にも慣れたある日のことです。ずっと担当していた認知症の入所者さんが、私の名前を呼んでくれました。短期記憶は苦手なはずなのに……この時の感動は、今も忘れることができません。建設業に従事していた頃は休みを取るのもままならなかったのですが、今は休日も増え、どんな風に過ごすか考えるのが楽しみです。

落合 翼さん



安心して、ママになる。

結婚しても、仕事を続けたい。
家事や子育てと両立したい。そんなあなたの希望に、
介護の仕事はぴったりフィットしそう。

介護職の特長は、他者を思いやる気持ちにあふれた方が数多く働いていること。だから困ったとき、同僚同士で助け合えるのです。私も子供が小さいときは、就業時間通りに仕事を終えることができるよう随分フォローしてもらいました。気付けば息子たちも14歳と11歳に。子育ても一段落し、これからは自分のキャリアアップのために、資格取得にチャレンジしたいと思います。

山下 明日香さん



看護助手 ▶ 介護職

高校卒業後、看護助手の仕事に就きました。8年勤めましたが評価が上がらず、転職を決意。重視したのは「自分の頑張りを認めてもらえる業界」でした。今の職場は自分の努力がきちんと反映され、給与アップにもつながるので、やる気が出ます。もうすぐユニットリーダーの研修があるので、さらなるスキルアップを目指します。

杉村 幸子さん



現在の施設に入職してから2年後に結婚し、女の子を授かりました。仕事を続けたかったので職場の産休・育休制度を活用。保育園に入園ができず困ったときも、育児休暇の延長制度のおかげで無事復職できました。これまで通り働けるか正直不安もあったのですが、同僚の皆さんはもちろん入所者さんも復帰した私にやさしく接していただき、少しずつ自信を取り戻すことができました。

須之内 麻緒さん

私たちの仕事のこと、少しだけお話します。

介護業界に興味はあるけれど、
分からないことや不安もいっぱい……
そこで、現役介護職員の私たちが、
みなさんの疑問にお答えします。

※本パンフレットの情報は2023年3月時点のものです。



Q. そもそも介護って、どんな仕事？

ひとこと言うと、「高齢者の方がその人らしく生活できるように支える仕事」です。
食事や入浴を介助するイメージが強いけれど、
本当はもっと奥が深いんですよ。



Q. シフト制で大変そう。休日はしっかりあるの？

私の休日は月9日です。ローテーション勤務で大変と思われるかもしれませんが、
平日の休みや遅番の日には朝ゆっくり過ごせるし、
子どもの行事にも予定が合わせやすい職業だと思います。

Q. 介護施設って、どこに就職しても同じ？

施設の種類や運営主体によってかなり違いがあるんです。
その中で、私たちが働く社会福祉法人運営の施設は、
事業や待遇が安定しているからオススメです！
また、福祉サービスの充実・向上だけでなく、地域の課題やニーズに対して、
専門性や強みを活かした様々な社会貢献事業に取り組んでいます。
例えば・・・地域防災、大学や中学・高校との地域活動、SDGsへの取り組みなど

Q. 転職に、不安はありましたか？

もちろんありました。でも介護施設には転職者が多いから
不安な気持ちをわかってもらえるし、相談にも乗ってもらえるんです。
30歳・40歳・50歳、何歳からでもチャレンジできる点も魅力です。



What's Care worker?

Q. 職場の人間関係ってどうですか？

介護職って老若男女にこだわらないし、最近は外国人の方も増えてます。
いろんな人が働いているからこそ、誰もが理解できるよう丁寧に仕事を教えてもらえ、
チームワークが大切だから人間関係も良好なんです。

Q. 給与ってどれくらいなんですか？

大阪府社会福祉協議会老人施設部会に加入している施設を対象に、賃金実態調査(令和3年度)
を行ったときのデータによると、正規職員の給与(月総支給額)について、
介護職員は平均274,079円、介護主任は平均351,251円だそうです。

Q. 無資格でも大丈夫ですか？

無資格の方も大歓迎です！
実務経験を積みながら勉強すれば、資格をとることもできますよ。
また、資格取得支援制度等により自己負担の必要が無い施設もあるので、キャリアアップも安心です。

介護の仕事に興味を持った皆さんへ。

大阪福祉人材支援センターでは、福祉専門のキャリア支援専門員による「なんでも相談」を随時受け付けています。
相談はもちろん無料!またホームページでは、職場体験セミナーや就職イベントの告知、
働きたい方と事業所のマッチングコーナーなど、多彩な情報を発信しています。

大阪福祉人材支援センター
<http://www.osakafusyakyoo.or.jp/fcenter/>

